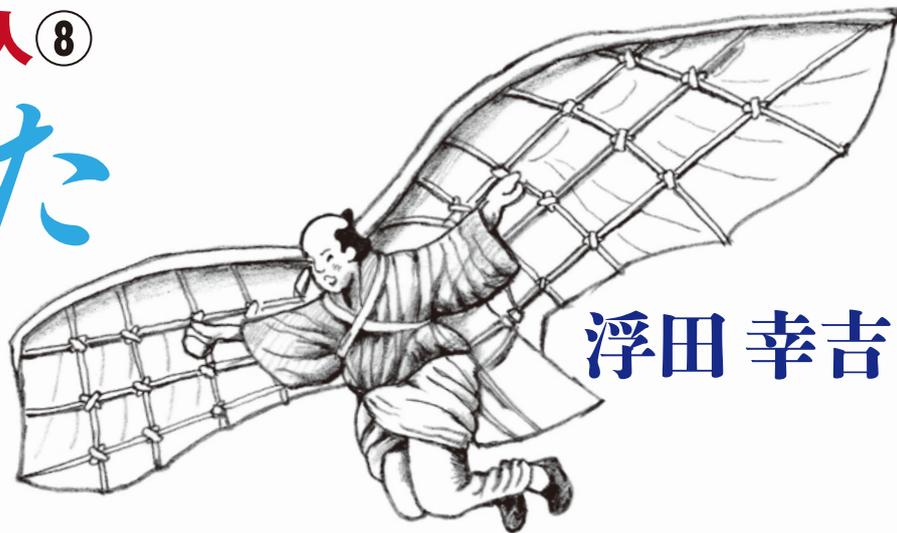


鳥になった 男たち



浮田 幸吉



二宮 忠八

郷土の先人の功績や思想、文化を学び直す「リレー・シンポ『輝ける讃岐人(びと)』」。第8回は、自作の翼で鳥になろうとした男、二宮忠八と浮田幸吉を取り上げる。

伊予国八幡浜浦(現八幡浜市)で生まれた二宮忠八。陸軍従軍中に群れ飛ぶ鳥を見て飛行原理を発見し、ゴムを動力にした4枚羽のプロペラを持つカラス型飛行器を製作。1891(明治24)年丸亀練兵場で、高度1[㍓]、飛行距離30[㍓]を飛び、日本初のゴム動力模型飛行機が飛行実験に成功した。アメリカのライト兄弟の有人飛行の12年前である。その後、人を乗せて飛べる玉虫型飛行器を考案し、わが国における飛行機開発の先駆者となった。忠八はまた、製薬業界でも名を成し、晩年は京都に飛行神社を建て航空犠牲者の鎮魂に尽くした。

忠八に先立つこと106年。岡山城下で腕利きの表具師であった浮田幸吉は、ハトが空を飛ぶメカニズムを独自に研究。表具師の技を応用し、竹を骨組みにして紙と布を張り合わせた翼を製作。1785(天明5)年夏、旭川に架かる京橋の欄干から飛び立ち50[㍓]ほどの日本で初めての有人飛行を行ったという。しかし、見たこともない翼である。町は大騒動となり幸吉は所払いの刑をうけた。シンポでは、航空工学の専門家が幸吉の翼のメカニズムを解剖するほか、模型を作って幸吉の飛行を再現する。

日時 令和4年11月13日(日) 開場▶12:30 開演▶13:00

会場 能楽堂ホール ^{ナイン}tenjin9(岡山市北区天神町9-24)

定員 150名(事前申込不要、会場先着順) **入場無料**

新型コロナウイルスの状況により、定員は前後する可能性があります。



講師



八幡浜市美術館学芸員
井上 千秋 (いのうえ ちあき)

八幡浜市出身。女子美術大学造形学部卒業後、1996年八幡浜市に学芸員として入庁。市の文化行政に携わる。郷土ゆかりの人物や事象の掘り起こしや美術館での展覧会の企画運営を手掛ける。「大空への挑戦展(二宮忠八展)」、「郷土が生んだ力士たち展」などの郷土企画のほか、「近代西洋絵画名作展」など特別展を担当している。

演題 「飛行機発明の先駆者 二宮忠八」



日本航空宇宙学会会員
石井 潤治 (いしい じゅんじ)

航空機設計の専門家。日本大学理工学部の卒業研究で、人力飛行機「STORK」を設計製作。同機は1977年2093.9[㍓]を飛行し、世界記録樹立。「STORK」は国立科学博物館廣澤航空博物館にゼロ戦、YS11とともに常設展示されている。またエンジン付きスポーツ航空機「バフィン」と「レモン」も設計し航空局審査を全項目合格の後販売。一方で「飛行機ショップA002(あおに)」を開店し航空教育にも取り組んでいる。STORK開発の概要をラジコン技術誌に「よみがえれ ストーク!」として連載中。

演題 「幸吉の飛行を科学的に考える」

問い合わせ (公財) 山陽放送学術文化・スポーツ振興財団

e-mail sanyohoso-zaidan@rsk.co.jp
TEL 086-225-2770 FAX 086-225-5525

新型コロナ対策 岡山県の基準に沿った対策を実施します。ご協力をお願いします。詳しくは財団ホームページ。

- 来場者のマスクの義務化(各自ご持参ください)
- 37.5度以上の熱、風邪症状のある方は入場をお断りします。(同居家族含む)
- その他詳しくは、財団ホームページに掲載しています。

第10回予告

ブギの女王 笠置シズ子 初の映画スター 尾上松之助

令和4年12月11日(日)
能楽堂ホール tenjin9